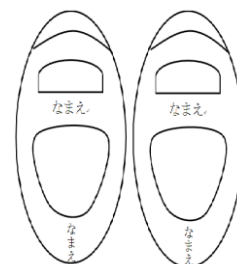


入学までに準備していただくもの

1 ランドセル

軽くて丈夫なもの。開け閉めのしやすいもの。

入学までに、開け閉め、学用品の出し入れ、背負う、などの練習をして、一人でできるようにしておいてください。



2 上靴、上靴入れ

はきやすく、ぬぎやすいもの。底の厚すぎないもの。

図のように、2か所に記名をお願いします。

上靴は、週末に持ち帰りますので、洗って、週明けに持たせてください。(上靴入れは、6年間使えるように、大人のサイズが入るような大きさのものがいいです。)



3 筆入れ、筆箱

開け閉めがしやすく、落としても、大きな音がしたり中身がこぼれたりしないもの。

中には、**鉛筆5本、赤鉛筆・青鉛筆それぞれ1本ずつ(赤青鉛筆も可)、消しゴム1個、**

定規(透明で15~20cmくらいのもの)を入れて下さい。入学前に何度も使ってみて、消しゴムで消したり鉛筆を出し入れしたりする練習をして下さい。**学校から帰ったら、毎日中を確認して、鉛筆を削るようにさせてください。**

4 鉛筆

2Bの濃さが適当です。また、六角形など、転がらない方が扱いやすいです。授業にみんなが集中できるよう鉛筆は学校でなく家で毎日削ってきます。

一本一本に、名前を書いてください。(入学時、名前がないと自分のものかどうかわからないお子さんがいます。鉛筆が持ち主のところに戻れますようよろしくお願いします。シールですと時間とともにをはがれる場合が非常に多いようです。削って記名するなど、名前が消えてしまわない工夫をお願いします。)



5 消しゴム

無地で、四角い、実用的なもの。紙ケースだけでなく本体にも記名してください。

おもちゃのようなもの、色やにおいのついているものは、**学習のさまたげ**になり、字をうまく消すこともできません。鉛筆を置いて左手(右手)で紙をしっかり押さえ、細かく動かして破らずに消す練習をしてください。

6 下敷き

無地のものが学習に集中しやすく、望ましいです。文字や絵がかかっていると、透けて見えて、文字を書くさまたげとなります。

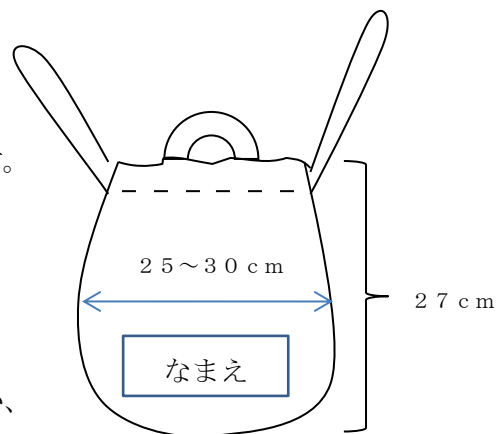
7 道具袋

巾着袋に持ち手がついたもの。色鉛筆（クーピー）、クレヨン、のり、はさみ、セロハンテープなどを入れ、机の横にかけて使います。

持ち手がついていないと、袋が床について汚れてしまいます。

机の横のフックから床まで40cmなので、床につかない長さに持ち手の長さを調整してください。また、入れたペンやはさみ等が取り出しやすいように、内ポケットもあると使いやすいです。

道具類の出し入れを一緒に練習し、スムーズに出し入れができるか、確認しておいてください。



8 色鉛筆（クーピーペンシルなど）とクレヨン

色鉛筆（クーピー）は15色程度、クレヨンは16色程度が適当です。

色数が多すぎるとかさばりますし、しまうのが難しくなってしまいます。これも、**一本一本に記名**をしてください。



9 はさみとのり

はさみは、ケースと本体両方に記名してください。のりは、中蓋を外して、のりを適量出すことができるよう練習してください。キャラクター付きのものは、出し方の調節が難しいものもあるので向きません。

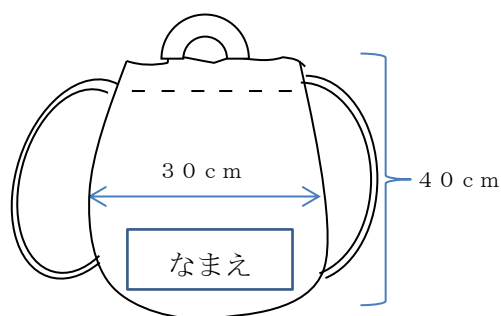
10 図書バッグ（絵本バッグ）

入学してしばらくすると、図書室の利用が始まります。図書の本を借りる場合に本を入れるためのバッグが必要となります。大きめの絵本が入るサイズの手提げバッグを用意しておいてください。持ち帰りの荷物が多いとき、荷物をまとめて入れて持ち帰ることもできます。**机の横のフックから床まで40cmなので、床につかない長さに持ち手の長さを調整してください。**縦約30cm、横約35~40cm程度の大きさの物が使いやすいようです。

11 体育着と体育着入れ

右図のような袋に持ち手をつけて用意して下さい。中に、半そで、短パン、長そで、長ズボンが入ります。手さげ型は、フックから落ちやすく、中身も出やすいので不適當です。

ランドセルの上に背負う練習もしてください。



12 給食用具

はし、スプーン、ランチマット、お手拭き(またはウェットティッシュ)

これらをまとめて入れておける、巾着袋もご準備ください。

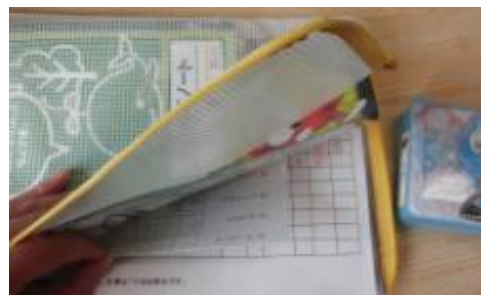
学習机は縦40cm、横60cmです。おぼんは、縦28cm、横36cmです。



↑入学後、初めての給食(例)。

13 連絡袋

連絡帳や、お便り、プリントなどを入れて持ち帰るための透明なソフトビニールタイプの入れ物です。プリント類が破れたり折れたりしないようにしまってお持ち帰るように声がけをします。入学後には、帰宅したら連絡袋を出して、お便りをお家の人に渡す習慣をつけていきます。



14 防災頭巾

災害時、避難訓練のときに使います。普段は、椅子の背もたれに付けています。



16 靴や傘

靴は、脱いだり履いたりしやすいもの。

大きすぎるもの、飾りやひものついているもの、底が厚いものは、走りにくく、怪我のもとにもなります。

靴や長靴、傘は、似ているものが多いので、よく取り違えがおこります。**外から見てもわかる場所に記名をしてください。**特に、傘は、閉じていても見えるところに名前を書いてください。傘を閉じて、巻いて止める練習も何度もやっておいてください。



17 雑巾2枚

雑巾だけは名前はいりません。子どもが絞りやすいように薄手のものを用意してください。

★ すべてのもの、一つ一つのよく見えるところに平仮名で直接名前を書いてください。

☆ 袋から出したり、薄紙を取り除いたりして**すぐ使える状態**にしておいてください。